

# 名戸ヶ谷ビオトープだより

第 97 号 2024 年夏号

2024 年 6 月 1 日発行

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行  
発行責任者：小笠原 智 Tel 080-2259-4415  
<http://nadogaya-biotope.com/>

## 今春は天候不順でしたが、稲作作業の開始です



五月晴れの下で田植え。市民参加の若人も頑張っています

今年は3月の定例活動日に稲株踏みを行い、4月の定例活動日に元肥（バイオ有機肥料）散布しました。今春は前半の気温が高く、桜開花前に寒気が戻り野菜の生育などに影響が出ました。連休前の27日から畔の補修、田んぼ内の草取り、板均し（代掻き）を行い、4日朝に影山（清）さんの軽トラックで藤心

ライスセンターから苗を引き取りました。5日の「子供の日」と6日の休日であるうるち田の田植えは終了しました。コロナ前の田植えに参加経験ある家族と友達も参加して賑やかな田植えになりました。うるち苗は千葉県産の「コシヒカリ」です。（小笠原 智）



# 名戸小の田植え 「田植え、楽しかったー」

連休明けの10日に名戸小の5年生67人がビオトープ田んぼで田植を体験しました。増尾城址公園での田植え経験はありましたが、田んぼが深いので最初は足を入れるのも恐々でした。それでも植え始めると楽しくなってあっという間に終了、予定外の部分まで終わらせました。手足やシャツ・半ズボンまで泥んこだらけ、足洗い場やシャワー洗い場は大賑わいでした。昔の田んぼは深く、米づくりの大変さを肌で感じて、ご飯を大切に食べてくれるでしょう。ヤゴなどの生きものもたくさん見つけながらの楽しい時間を過ごしました。



田んぼが深く進むのも大変

植えた苗はもち苗で「満月」、皇居で陛下が植えている品種と同じです。9月の稲刈りまで稲の成長を時々見に来てください。

(小笠原 智)



「早く植えたいなあ」



這いつくばって？頑張っています



# 田植えの感想が届きました(2024夏号 追補版P1)

名戸ヶ谷小学校より

☆5年1組

・最初は「やったー田植えだ！」と思っていましたが、後から「うわぁ大変だ！泥がすごい」ってことになりました。でも、やってみたら意外と楽しくなりました。オタマジャクシ、カエル、虫などがいて楽しかったです。次は稲刈りを楽しみにしています。(I.H)

・田植えをしている人の苦労がわかりました。すごく汚れてしまったけど楽しくできました。秋の稲刈りのときにこの体験を生かしていきたい。(F.K)

・ビオトープの田んぼでの田植えは増尾城址公園とは全然違って深いし、虫などもいて楽しかったです。苗をたくさん植えて大変だったけど又やってみたいと思いました。次の機会があったらもっとたくさん植えて会長さんや副会長さんのようになれたらいいなと思いました。(S.N)



☆5年2組

・ビオトープでは生き物を大切にしている、一年間ずっと田んぼに水を張っていると聞いて驚きました。思っていたよりも足がはまり大変でした。あの田んぼの底はどうなっているのか不思議です。お米を作るには、田植えだけでなく、他の多くの作業をしなければならないので、ごはんを食べられることはすごくありがたいことがわかりました。本当に貴重な体験になったと思います。(I.M)

・先生がビオトープの田んぼは深いよと言って心配していましたが、実際は冷たかったけどそこまで深くなくて安心しました。みんなと集団行動して絆が深まりとても良い田植え体験ができたと思います。他には虫や生き物がいっぱいいて、ビオトープはとても自然豊かなところだとわかりました (S.S)

・お米は人の手で作っている事がわかり、それを自分でも体験できてとてもうれしかったです。虫が嫌いでも、泥だらけが嫌でも、いつも食べているお米にするために一粒一粒を大切に育てている人の気持ちを考えて田植えに取り組みました。(F.A)



# 土小学校の校地外学習(春の観察会)です

(2024 夏号 追補版 P2)

土小の校地外学習は3年目になります。雨で1週間順延になりましたが6月7日に2年生70人が校長、担任、父兄のお守り隊の皆さんと徒歩で来訪しました。12グループに分かれ、2組ごとに「田んぼ観察」「湿地観察」「ザリガニ釣り」などを巡回しての学習です。ザリガニはあまり釣れなかったようですが、シオカラトンボ、キアゲハ、モンシロチョウなどの昆虫やシュレーゲルアオガエル、ニホントカゲ、ドジョウなどを発見、捕獲することに大きな歓声が聞かれました。



好天に恵まれ、ホタル広場での「はじめの会」です



会員に質問中です

(今年は難しい質問はなかったです)

広場の草刈りやザリガニ釣り場の泥ざらいなど準備も大変でしたが、終了後に児童達から「楽しかったで〜す」「ありがとうございました」との声をもらい疲れも消えました。児童達のほとんどがピオトープは初めてのようでしたので、次は家族で生きもの観察やザリガニ釣りに来てください。又ザリガニなど外来種をほかの池などに放流しないようお願いしました。(小笠原)



ザリガニ釣り場は大賑わいです



ちょっと見えにくいですが石の角にいます

石の上にいる「お母さんトカゲ」を見つけました



# 春の生きもの観察会

5月12日(日) 9:30～10:30 曇り 気温 23℃  
春の観察会を実施しましたが、市民参加者はなく残念でした。講師の松清さん、佐藤(清隆)さん夫妻、藤本さん家族、村岡さん家族、藤平の9名参加でした。

A、Bゾーンを補虫網、バケツをもって巡り、シオカラトンボ、ムギワラトンボ、ナナホシテントウムシ、カナヘビなど捕獲、又三角池でアメリカザリガニ、カダヤシ、ヤゴ、サカマキガイなど捕獲しました。又、休耕田脇の

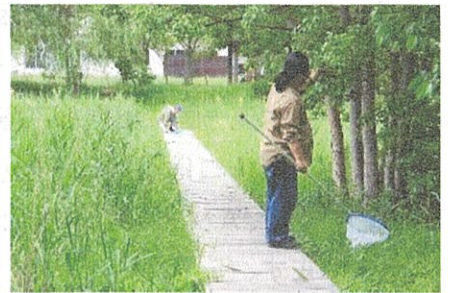
水路で特定外来種のアカミミガメ成体を捕獲し、誰か飼いきれなくなり放流したものと思われる。最後に松清さんから捕獲した生きものの説明、特定外来生物の話、質問などをして熱心に聞いていました。捕獲した生きものを元に放ち(アカミミガメは別)、生きものに触れて楽しい時間であったと思います。南風が強くチョウ類、トンボなどは少なかったです。



三角池で探しています



Aゾーンを観察中



Bゾーンを観察中



捕獲したアカミミガメ成体



大きなカメでびっくり

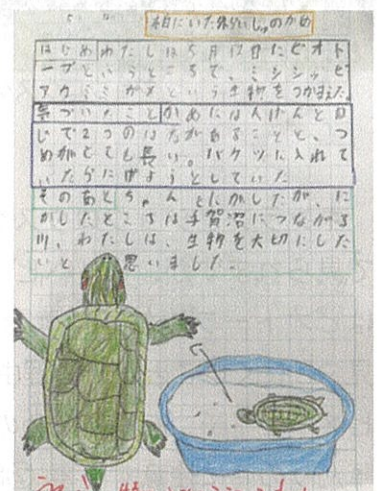


松清さんから生きものの説明中

## ヘイケボタルの幼虫放流は中止

4月21日(日)に予定しておりましたヘイケボタルの幼虫放流は中止となりました。例年、松清さんが7月～8月に手賀沼周辺のホタルより採卵して幼虫飼育していました。今年は放流日が近くなり個数を確認しようとしたところ幼虫が死んでおり、水温管理の失敗と思われます。誠に残念ですが又来年に向けてチャレンジです。

尚、ホタル自生の可能性が疑われていますが、今年は放流なしなのでホタルの発光が確認できれば自生有と判断できる良いチャンスと思います。皆さんで確認をお願いします。(藤平 三郎)



生きもの観察会の「絵日記」

藤本 凧々さん(4年生)



# ビオトープで再・新発見

## ビオトープの植物・希少な花

ビオトープには千葉県絶滅危惧種に指定されている希少な花が3種あります。

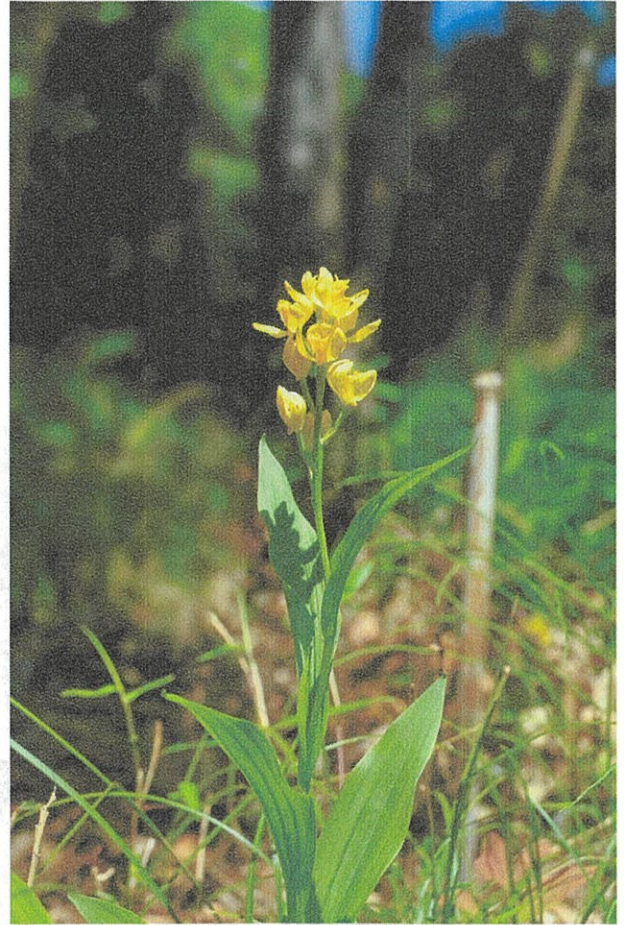
キンラン、ジョウロウスゲ、ヒメヘビイチゴで、いずれも4月後半から5月にかけて開花します。

キンランは林下に生えるランで、ビオトープでは作業小屋裏の斜面林下で見られます。ジョウロウスゲは湿地や水田跡地に生えるカヤツリグサ科の植物で、ビオトープではBゾーンの中央木道一画に出現して増えています。ヒメヘビイチゴは湿地を好む小さなヘビイチゴの仲間で、Aゾーン北側の湧水池の周りに生えています。

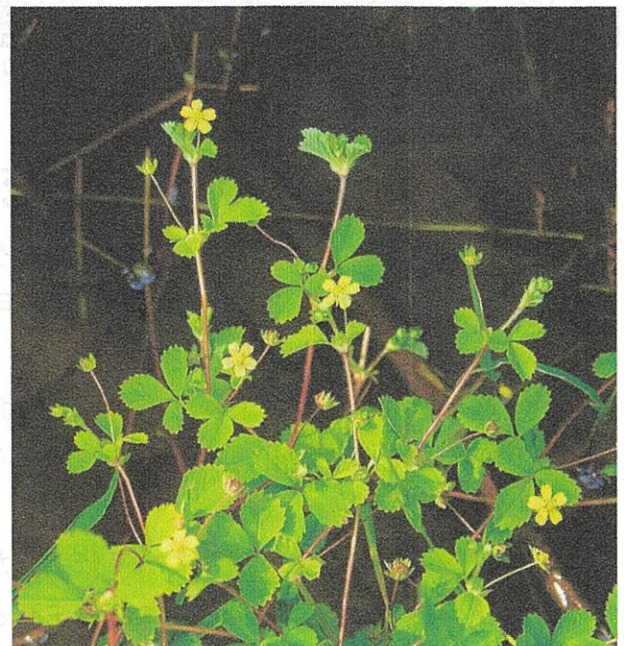


ジョウロウスゲ

キンランとジョウロウスゲは柏市内の方々で見られますが、ヒメヘビイチゴは市南部ではビオトープ以外では確認されていません。見つけにくいことがその理由かも知れません。ヒメヘビイチゴを護るための注意点は、①春の草刈りの時に注意する事、②踏み付けに注意する事、です。(佐々木 光正)



キンラン



ヒメヘビイチゴ



# 月例活動状況のお知らせ (3月から5月まで)

## 3月17日 (日)

気温も上がり 4月並みのポカポカ陽気となりました。今月から会員が参加しやすいように、活動日を試行的に日曜日としました。作業は、田植え準備まへの株踏み作業です。多くの会員参加により7枚の田んぼをすべて完了しました。中には足が抜けきらず、田んぼに尻もちでどろんこになって大変でした。又、ビオトープだより2024年冬号の配布で会員は持ちかえりました。



田んぼの株踏みと畔際の草刈り



田んぼの株踏み



## 4月21日 (日)

当日予定のヘイケボタル幼虫の放流は中止となりました。飼育中の幼虫が水温管理の原因で死んで、又来年に向けてチャレンジです。作業は、各田んぼへの肥料散布、畔回りの草刈り、ザリガニ釣り場葦の刈り取り、Bゾーンの草刈り、木村家、南側歩道斜面の草刈りでした。多くの会員参加で手際よく終えることが出来ました。いよいよ5月に田植えです。



肥料の散布



ザリガニ釣り場 ヨシの刈り取り



Bゾーン草刈り



木村家、南側歩道斜面の草刈り

## 5月19日 (日)

作業は、ホタル水路沿いヨシの刈り取り、休耕田ガマの刈り取り、市道沿い草刈り機による刈り取り、Bゾーンヨシ、セイタカアワダチソウの刈り取り、回生の里前の広場草刈り機による刈り取りを行いました。回生の里広場は5月31日(金)に土小学校の校地外学習で使用するために準備です。  
(藤平 三郎)



ホタル水路ヨシの刈り取り



休耕田ガマの刈り取り



Bゾーンヨシの刈り取り



回生の里前の広場の草刈り



## 植え直しは悩みながらの作業です

児童たちが植えた苗は、途中から引いた線上から脱線したり隣と合流したりしています。畔に立ち、状況を把握してどう直すか考えてから田んぼに入ります。又苗の本数が多すぎ、少なすぎ、浮き上がり、カルガモの踏み倒しも併せて修正しながら進むので田植え時の2～3倍の時間を要します。

今年は、村岡さん、藤本さん、佐藤（一）さんに応援を頂き、無事終了しました。ありがとうございました。会員が植えた苗も例年通り植え直しを行っています。

又、中央木道脇で一番深い田んぼ（株踏み時に股下まで埋まった場所）に太さ約 10 cm、長さ 5m ほどの青竹を 5 本埋め込みました。近くの植木屋さんに依頼して青竹を入手しました。現状、浮き上がり防止竹を施しています。

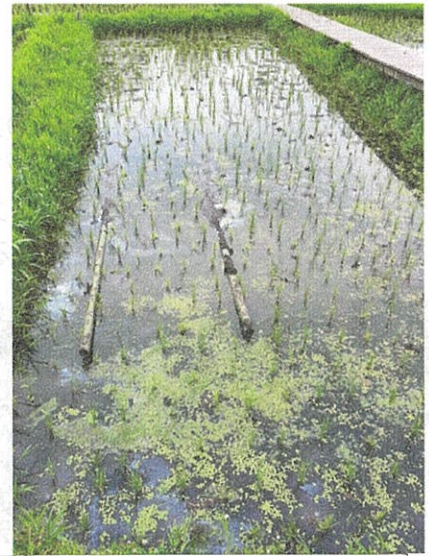
（小笠原 智）



村岡さんと藤本さんが植え直し苦戦中です



佐藤（一）さんの手前と奥（直し後）との差、判りますか



浮力で片方浮き上がった青竹2本

## 6～8月の活動予定 定例活動は第3日曜日に変更を継続です

6月16日：定例活動日（田の草取り、Bゾーン草刈り）

7月21日：定例活動日（外来種の草、ガマ等の草刈り、稲への追肥散布）

8月18日：各所の草刈り 【8月4日（日）雀除けネット掛け】

注）詳細の日時・作業内容はグループメールにて連絡します。

### 名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車

面積：約 4,400 m<sup>2</sup> 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物 26種）

（2013年、年間を通じて観察した生きものの種類）